

～構成団体～
 連合長崎
 県平和運動センター
 同盟友愛連絡会
 労働金庫
 こくみん共済coop
 県生活協同組合連合会



一発行所
 長崎県労働者福祉協議会
 〒850-0031
 長崎市桜町9-6
 長崎県勤労福祉会館内
 ☎095-811-6131
 roufuku-nagasaki@io.ocn.ne.jp
 発行日 隔月1日
 発行責任者 椎山和久

全国研究集会2025 in TOYAMA 開催

～地球が主役！ あたたかな子どもたちの居場所を～

去る6月6日、富山県富山市の富山市芸術文化ホール「オーバードホール」において「全国研究集会2025 in TOYAMA」が開催され、長崎からは3名が参加してきました。

オープニングセッションでは、富山県知事 新田 八郎氏と富山県労福協理事長 浜守 秀樹氏による富山県の取り組み状況が報告されました。

子どもたちを「未来を担う世代」として捉え、いかに地域社会で育てていくか、子どもたちがより輝いて自己を表現できる場所、安心して過ごせるあたたかな居場所を地域に如何に築いていくか、また未来の日本社会を担う子どもたちが夢を抱きながら成長することができる地域社会のあるべき姿はどのようなものか、という視点で、実際に富山県内において取り組みを行っている方々をゲストに招いてトークセッションが行われました。

ファシリテーター

・村上 満氏：富山大学子ども育成学部 教授

ゲスト：

- ・宮村 隼氏：(一社)なかのま 代表理事
- ・水野カオル氏：(一社)Ponteとやま 代表理事
- ・谷口 徹氏：NPO法人大空へ飛べ 理事長

コメンテーター

・南部美智代氏：中央労福協事務局長

グラフィックレコーダー

・岩下 紗矢香氏(いわし～)

村上教授のスムーズな進行(問い合わせ)によりゲストの皆さんのが実際にしている様々な取り組みや課題、今後に向けての夢や目指す方向性等について多くの意見が述べられました。

あっという間に時間が過ぎた集会でしたが、タイトルに掲げた子どもたちにあたたかな居場所をいか

にして私たち大人が与えていけるか、大きな課題ではありますが、一人ひとりが考える機会を与えてもらえる素晴らしい集会でした。



オープニングセッションの様子

2025年度 各地区労福協会長・事務局長合同会議を開催しました

7月25日、ホテルセントヒル長崎において、会長・事務局長合同会議を開催しました。

県労福協定期総会後の活動状況を報告するとともに今年度の中央、南部ブロックを含む当面の行動予定についての意思統一を行いました。

今年は南部ブロックの事務局を担当していることから、長崎県内における行事が増えることとなり、各地区労福協を含め、各種活動への例年以上の協力をお願いすることもありますが、今後とも、各種セミナーやレクリエーション等へのご協力をよろしくお願ひします。

なお、会議終了後には、長崎県地域環境課から講師

を招いて、「地球温暖化対策」をテーマに私たちができることについての講演を受けました。



長崎県出前講座の様子

各地区において定期総会が開催されました

今年の各地区労福協の定期総会は、日程調整等に非常に苦慮されたことと思います。そのような中、6月18日を皮切りに7月28日までにすべての地区において定期総会が開催でき、各地区的活動報告、決算報告、活動方針案、予算案が無事に了承されました。関係役員の方々や、定期総会に参加された代議員の皆さん、大変お疲れ様でした。

今後は、決定された方針に基づき、各地区においての諸活動が円滑に進められるよう皆さまのご尽力をよろしくお願いします。

■各地区労福協定期総会の開催状況

地区	開催日	場所
長崎	6月18日(水)	ろうきん会議室
佐世保	7月15日(火)	労働福祉センター
北松	6月30日(月)	たびら活性化施設
島原	7月23日(水)	ろうきん会議室
諫早	7月28日(月)	勤労者福祉会館
大東	7月24日(木)	勤労者センター
上五島	7月9日(水)	石油備蓄記念会館
五島	7月11日(金)	はたなか
壱岐	7月18日(金)	壱岐病院研修棟
対馬	6月20日(金)	対馬交流センター

2025年度地方労福協事務担当者研修会が開催されました

7月10日、神戸市において地方労福協事務担当者研修会が開催され、古里職員を含む43名が集い、持続可能な地域社会をつくる協同組合の役割や取り組みについての学習、また大規模災害が頻発する中での防災や減災についての考察が行われました。

翌日は北淡震災記念公園で30年前の震災時の様子を学習しました。



熱心に聞き入る参加者

第146回 労福協 クイズ

- 九州ろうきん長崎県本部は、長崎県内営業店独自企画として、2025年7月1日から「〇〇〇〇〇応援定期」を1万円以上新規お預け入れの方に、授産施設で作られたお礼品を贈呈しています！
- 長崎県労働者福祉協議会(こくみん共済coop)が7月30日に開催し、2025年度活動計画(案)などを確認したのは第〇〇回通常総代会です。

〇〇〇〇に入る言葉はなんでしょう。

- 答えはハガキかFAXで住所・氏名・電話番号・職場名を明記し県労福協へ送付してください。
 ○締切日は2025年9月12日(金)(当日消印有効)
 ○当選者に「お楽しみプレゼント」をお送りします。
 正解者多数の場合は抽選となります。
 ○送り先 〒850-0031 長崎市桜町9-6
 長崎県労福協クイズ係 FAX(095)811-6132
 ○前月号当選者発表(敬称略)

正解：1.「見直し」 2.「保障と貯蓄」

森川 明子(大村市) 都留 孝(大分県)
 田口 直喜(大分県) 岡崎 善夫(大分県)
 一ノ瀬 正章(川棚町) 山田 しのぶ(福岡県)

九州労働金庫「第25回通常総会」を開催しました

九州ろうきんは、2025年6月25日（水）に「第25回通常総会」を開催しました。九州各地から、臨時代議員・役員・来賓・関係者の皆さんに福岡市に参集いただきました。

報告事項として、①2024年度事業報告、②2024年度業務報告、審議事項として、①第73期剰余金処分案、②2025年度事業計画、③会員の除名、④2026年度役員改選における特別対応、⑤役員の補充選任、⑥退任役員に対する役員退職慰労金の支給、を提案し、全議案についてご承認いただきました。

「第22回全県推進委員交流集会」を開催します

「全県推進委員交流集会」は、労働組合とろうきんが「共に運動する主体」として労働者福祉金融を充実・発展させることを目的に毎年開催しており、今回の開催で九州ろうきんが誕生して22回目（旧長崎県労働金庫から通算45回目）となります。

今年度は、「ろうきんと社会貢献活動」をテーマに、2025年9月12日（金）「サンプリエール」にて開催を予定しています。

九州ろうきん長崎県内営業店限定企画

「こども未来応援定期」新規預入（1万円以上）をご協力いただいた方に 授産施設で作られた「まごころ商品」を贈呈します！（先着1,000名様）

「こども未来応援定期」とは、店頭表示金利より金庫所定の金利を引き下げた金利を適用金利とし、金利引き下げ幅分の利息相当額と金庫拠出金を合わせ、九州7県の「こどもたちを支援する団体」に寄付を行うものです。長崎の寄付先である「長崎県児童養護施設協議会」では、毎年の寄付金を県内の施設を卒業し就職・進学をすることへの支度金として利用されています。

2025年7月1日～2026年3月31日まで

※商品がなくなり次第終了いたします

大村さくらの家

（大村市木場1丁目）

～ガーゼハンカチ～

利用者の皆さまが個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会で営むことができるよう支援することを目的として、事業を行っています。

大村パールハイム

（大村市木場2丁目）

～真珠のストラップ～
働きたいという気持ちがある方に、職業訓練や生活支援を通して、ひとりひとりに合った自立に向けて支援することを目的とします。

さわり工房ながさき

（諫早市天瀬町）

～ポケットティッシュ・しおり・ふくろう～
特定非営利活動法人さわり俱乐部は、就労継続支援B型・地域活動支援センターです。

昨年は、2024年1月1日から12月末までの1年間で長崎県児童養護施設協議会への寄付額は420,630円となりました。

今年もご協力をよろしくお願いします。

社会福祉法人ゆうわ会 ながさきワークビレッジ

（長崎市西山4丁目）

～動物パズル・猫マグネット～

法人の基本理念を基に、利用者の尊厳と人間性を尊重し共に幸せを追求します。

電脳工房

（長崎市牧島町）

～小物かご・巾着～
利用者の自立と社会経済活への参加を促進するために、通所による就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労等への移行に向けて支援をします。

ぱれっと

（諫早市川床町）

～ポケットティッシュ・ピュアバラマグネット～
障害者総合支援法による就労継続支援B型事業ぱれっとの運営事業、送迎支援、生活支援、就労活動支援を行います。

平山友愛園

（諫早市川床町）

～キーホルダー～

障害者への自立を促進するため、利用者の能力や適性に沿った計画を立て、働く意欲や生活能力を引き出し、支援を行っています。

ライフ。ワーク小浦

（長崎市小江町）

～ベン立て～

就労継続支援B型は障害（療育手帳）をお持ちで、一般就労が困難な方が、軽作業などの就労訓練を行うことができる施設です。

ワークショップあさひ

（長崎市西山4丁目）

～Thankyouコースター～
快適な環境と、自由な雰囲気の中で、利用者の自主性や個性、ご家族との連携を大切にし、就職および生活支援を行っています。



— 将来の備えに向けたご相談は“ろうきん”へ —

長崎県労働者生活協同組合第70回通常総代会
こくみん共済 coop <全労済> 長崎推進本部第9回組合員代表者会議 開催報告
【開催日】2025年7月30日（水） 【場所】ホテルニュー長崎

2025年7月30日（水）に、ホテルニュー長崎において「長崎県労働者生活協同組合第70回通常総代会・こくみん共済 coop <全労済>長崎推進本部第9回組合員代表者会議」を開催いたしました。

今年度の通常総代会および組合員代表者会議では、新たな役員体制や2024年度活動報告、2025年度活動計画（案）などの議案を総代および組合員代表者の皆さんに確認いただき、全議案についてご承認いただきました。

ご出席いただきました来賓・総代の皆さんに厚く御礼申し上げます。



2025年度の新たな役員体制を確認いただきました。



総代および組合員代表者の皆さんに議案を審議いただきました。

2025年度長崎推進本部活動計画の基本的な考え方

- (1)マイカー共済・住まいの共済・団体生命共済・保障と貯蓄を兼ねた商品・こくみん共済を重点共済として、共済利用の拡大に取り組みます。
- (2)こくみん共済 coop の運動と事業の歴史・伝統を守り続けるとともに、未来にむけた「新しいたすけあい」を創造・実践し、協力団体・関係諸団体とのパートナーシップを強化します。
- (3)事業推進活動では、協力団体の福利厚生制度の拡充をめざす「団体生命共済」の利用促進に取り組むほか、組合員の生活再建制度へ大幅な給付改善をはかった火災・自然災害共済（2024年4月1日商品改定の実施）や、昨今の市場金利の上昇によりニーズが高まっている貯蓄機能を有する商品などを含め、トータルな保障設計を展開します。
- (4)組合員との多様なコミュニケーション手段の確立をめざし、公式アプリの機能拡充をすすめながら、引き続き登録促進を図り、登録者に対してデジタルアプローチに取り組み、充実した保障の提案活動を強化します。
- (5)こくみん共済 coop の共済の普及・推進活動は、社会貢献活動につながることから、引き続き、「7才の交通安全プロジェクト」や「こどもの成長応援プロジェクト」、地域でのさまざまな活動に参画しながら、協力団体・組合員と一緒に、社会課題の解消に寄与する活動をすすめます。